

まぶな



秋田市手をつなぐ育成会
会報 第36号
令和2年 3月31日発行

〒010-0922

秋田市旭北栄町1-5 秋田県社会福祉会館
秋田県手をつなぐ育成会 内
018-864-2718

毎年、春に思うこと



会長 田中 勉

3月は、卒業の時期であり、子供達の巣立ちの時期でもあります。特別支援学校の高等部の生徒も卒業を迎え、4月から新たな社会生活を始めることとなります。

毎年、特別支援学校の卒業式に参加しておりますが、子供達が18歳に成長するまでの家族の皆様や学校の先生たちの日々の苦勞を思うと目頭が熱くなる思いをしております。

平成29年度に秋田県において特別支援学校高等部の卒業生は、201人おり、社会福祉サービス利用者120人(59.1%)、就職者76人(37.8%)、その他3人(1.5%)、教育訓練機関等0人(0%)、進学者2人(1.0%)となっております。この数字を見ますと、大半の方が、社会福祉サービスを受けることになり、一般就労の方は、約1/3ということになっております。そして、殆どの方は、福祉サービスか一般就労かの選択というのが現実のようです。私が、思うのは、成長が

緩やかな知的障がい者が、人生の選択を、健常者でも未熟な18歳に全員行わなければならぬという現実が果たして人生の最良の選択のタイミングなのかということとです。しかも、その選択肢は、福祉サービスか一般就労かの二者択一の選択しかないという現実も非常に厳しい現実だと考えます。

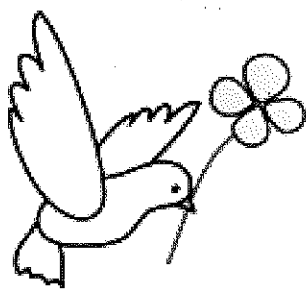
さて、世の中には、学校教育法の範疇には入らない知的障がい者向けの大学のような学校が存在します。一例として東京や九州に8校開設している「ゆたかカレッジ」は福祉サービスの生活訓練を2年間と就労移行支援を2年間使い、働く上で必要な順応力や専門的な知識を、実習を経て経験を積む、実務中心の学びを実施している学校です。昨年見学してきましたが、想像以上の生徒が通っております。このような学校は、学校教育法上の学校ではありませんから、卒業したからと言って何か資格を取得できるわけではありませんが、本人のコミュニケーション能力や社会人としての働くスキルの向上など大きな成果を上げている学校のようなのです。そして、このような学校の最大のメリットは、4年間という猶予期間に家族や周りの方々とみんなで家族の将来を考える時間ができるといふ点だと

考えます。又、他県では、国が設置する障害者職業能力開発校や各県で設置する障害者職業訓練校という学校が存在します。残念ながら秋田県にはありません。この二つの学校は、対象を知的障がい者と明記して生徒を集めております。期間は、一年間ですが、寄宿舎もあり授業料は無料というありがたい学校です。そして、秋田市では殆ど消滅状態の就労移行支援事業所の存在もあります。この就労移行支援事業とは、障害者総合支援法に定められた障害福祉サービスの一つで一般企業への就職を希望する方に向けて、働くうえでスキルや就職サポートの提供、そして就職後の職場定着を支援する福祉サービスです。全国では、三百以上の事業所があり、毎年増加して3万人以上の方が現在このサービスを利用してありますが、秋田市では、残念ながら殆ど無いに等しい状態になっております。私は、知的障がいのある子供達は、時間さえかければ間違いない大きく成長することを実感しておりますし確信しております。ですから、もっと個人が持っている潜在能力を伸ばす仕組みや制度さえ整えば、確実に一般就労に着ける子供も増えていくと考えております。そして、受け入れ側の話になりますが、ここで、注目

すべき数字があります。特別支援学校高等部を卒業した知的障がいのある方の就業者は、全国平均で32.9%となっておりますが、なぜか鳥取県の就業者の割合は52.9%で特別支援学校高等部を卒業した障がい者の半数以上が、一般企業で働いているという実績があります。東京都であれば企業数が圧倒的に多いので高いのは想像できますが、秋田県よりも企業数が少ないと思われる鳥取県で何故、障がい者の就職率が高いのか不思議です。その理由は明らかに県の真剣な取り組みのようです。行政が真剣に取り組めば、障がい者雇用は間違いなく進むといういい例だと思います。

基礎年金は、20歳になれば受給できないうことで18歳では本人の力だけで、入所施設やグループホームで暮らしていくのは難しいという現実もあります。知的障がい者は、どんな局面であっても、選択肢が少なすぎると考えております。知的障がい者の一人一人の人格を尊重し、本人の自立を促進するには、本人の潜在能力を最大限引き出して、その能力に応じて生活できる選択肢を増やす必要があると思います。そのためには、本人の能力を最大限に成長させるための仕組みや制度が必要であり、同時に成長するための機会が必要だと考えます。又、受け入れる企業や行政の支援も必須だと考えます。子供たちの自立をどのようにして育んでいくかを育成会の課題として皆さんで考えていかなければならないと思います。

高等部卒業の18歳という年齢は、障がい児と障がい者の境目の年齢です。そして、すべてこの18歳というタイミングで進路や暮らしの場を決めなければならぬ制度になっています。一般就労か福祉サービスしかない二者択一の選択をし、暮らしの場は、入所施設もグループホームも空きはありませんから、自宅から通うという選択肢しか存在しないことになります。つまり、自宅から一般就労で会社に通うか福祉サービスを受けるために自宅から通所するかという選択しかないということになります。しかも、障害



秋田市では、毎年 夏～秋頃

障がい者のためのくらしのしおり

が発行されています

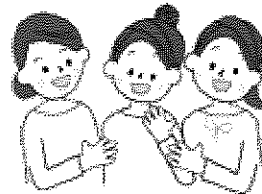
障がい福祉サービス等、障がい児・者のために必要な情報がたくさん掲載されています。

医療費等の助成、手当・年金、税金の控除・減免、公共料金などの割引・助成など、直接くらしに役立つ情報や、教育・就労等の相談先、各施設や事業所等も随時更新されております。

どんどん変わっていく秋田の福祉環境やサービスに対応していくためにも是非活用していきましょう。

秋田市福祉保健部障がい福祉課の窓口で無料でもらえます。

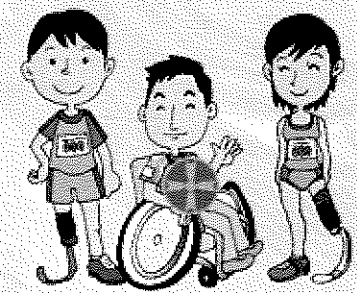
また、この「しおり」の内容は、秋田市ホームページ内の障がい福祉課のページ内にも掲載されているそうです。



秋田市手をつなぐ育成会の案内も載っていますよ～



障がい者のためのくらしのしおり



誰もが人格と個性を尊重し 相互に支え合い 共生する社会

秋 田 市

最新号 〈令和元年・9月発行〉

「生きる力」を育む！
お金の学ばずさんすう

講師 住山 志津枝 先生
ファイナンシャル・プランナー

令和元年9月28日(土) 14時～16時30分
秋田さきかけホール(多目的ホール)

参加費 無料

申込先 秋田県福祉保健部障がい福祉課

磐湖学園の糸賀一雄先生の「この子らを世の光に」という有名な言葉で締めくくられました。全体として大変好評な講演でした。また、講座には支援学校の先生が数名ご参加されており、最後の意見交換会ではその先生たちが熱心に質問されておられました。講座の内容を実際の授業に役立てたいという支援学校の先生たちの熱意が感じられました。

また、講座には支援学校の先生が数名ご参加されており、最後の意見交換会ではその先生たちが熱心に質問されておられました。講座の内容を実際の授業に役立てたいという支援学校の先生たちの熱意が感じられました。



令和元年度うちよ財団助成事業の第二弾として、令和元年9月28日(土)の午後に秋田さきかけホールにて京都在住のファイナンシャル・プランナーの住山志津枝様を講師にお招きして開催されました。

今回の講座の趣旨は「お金をやりくりすることの基本を本人と保護者が一緒に学びましょう」という内容です。参加者は52名で本人と保護者が一緒に参加した家族が8組おられました。



京都弁が流暢な住山先生



講演するときはいつもの格好だそうで…
黄色いエプロンに三角巾をつけ
とても親しみやすいお姿でした

芸術家さん



『生きる』 小林 顕

小林副会長は一昨年の新人賞受賞に引き続き、昨年10月に東京六本木の国立新美術館で開催されました第83回自由美術展において写真の出品作「生きる」(162×130cm)で、歴史ある自由美術協会の会員に推挙されました。小林副会長はこの絵で知的障がいのある子どもと共に懸命に生きる親の姿をご自分の人生に重ねながら独特の力強い筆使いで表現されております。絵に内在する壮絶な情感が見る者の心を打ち今回の会員推挙となりました。まさに入魂の一作であります。小林副会長はこれから命ある限りライフワークとして、知的障がいの子供の親としての視点から絵を描き続けていきたいとお話されておりました。今後の小林副会長の日本の美術界でのご活躍を期待いたします。

当会誇る
アーティスト！



マスクは豚さん…豚の足跡はハート型♥



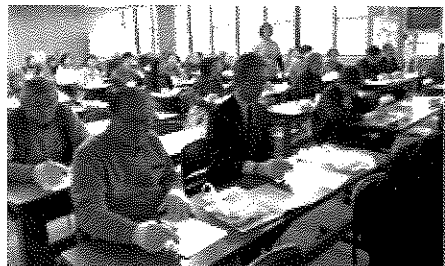
ユーモアたっぷりて時間を忘れる楽しい話術



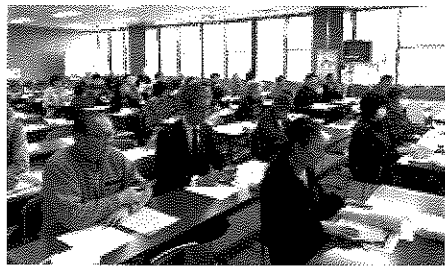
花笠ほーぷ隊の皆さん(中央が代表の古澤さん)



意味のない文章は、覚えにくい…人間の脳の不思議???



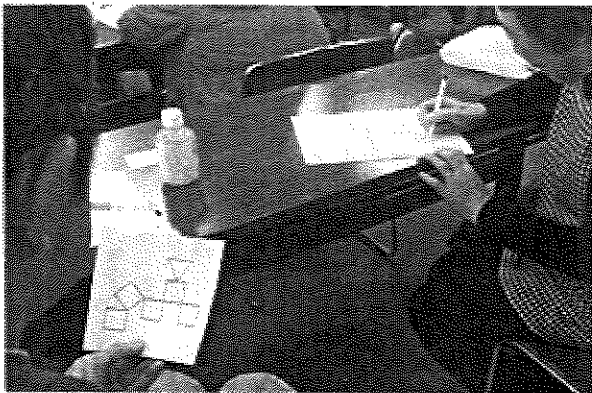
軍手を2枚重ねて、さらにちょっと引っ張って感覚鈍麻体験…いつも簡単にできることがむずかしい、



様々な疑似体験の中で感じた思い…「障がいって生きづらい…」実感しました

くらし

学ぶ



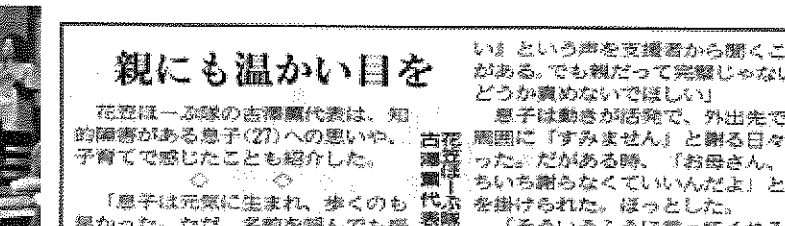
図形を言葉で相手に伝え、紙に描かせるワークショップ。「伝わらないもどかしさ」を体験した

知的障害のある人は周囲の言葉が何を意味しているのか、よく分からない。...

「ちゃんと」って? / 覚えたはずなのに...

障害者の戸惑いを体験

「ちゃんと」って? / 覚えたはずなのに... 図形を言葉で伝える... 意味のない文章を覚える...



花笠ほーぷ隊の古澤代表は、知的障害がある息子(27)への思いや、子育てで感じたことも紹介した。...

《秋田魁新報11月29日付より》

令和元年11月16日(土)の午後、秋田市八橋の秋田市老人福祉センター3階大会議室で「みんな違ってみんないい、知ってほしいなあ私たちの事」と題して、山形県の花笠ほーぷ隊の3名の隊員(古澤薫様《花笠ほーぷ隊代表》、天童在住、長谷川薫様《鶴岡在住、阿部信子様《酒田在住》が公演されました。

当日、全国手をつなぐ育成会連合会副会長の小島幸子様も講演される予定でした(演題名「重い障がいの子供と地域で暮らすということ」)が、残念ながらこちらの方は小島様の子供さんのご事情により中止になりました。...

例えば「ちゃんとします」とか「ちゃんと座りなさい」などの「ちゃんと」という言葉を絵で表現していただく、あるいは絵に描かれた図形を言葉で隣に座っている人に説明してその隣の人にその図形を紙に書いて再現していただく、また、意味不明な文を数秒で暗記してもらい紙に書き起こしていただくなどのことを体験させていただきました。

花笠ほーぷ隊の3人のお母様が来て下さいました。願ひは、「知的障害」や「発達障害」に理解のある人たちが地域にたくさん増えてくれること。講座の中で、「百人いたら百通り」「温かい心の無視」など印象的な言葉がありました。...

秋田市市民公開講座 秋田市知的障がい児者サポーター講座 11月16日(土) 14時~17時

参加者の声をきいてみました! *今回、初めてサポーター講座に参加しました。花笠ほーぷ隊の講演はとてもおもしろかったです。

*サポーター講座に参加して 花笠ほーぷ隊の講演はとてもおもしろかったです。自分も体験してみたい、あ、こういう事だったんだ「そうなんだー」の連続でした。...

一般の方、学生の方、医療関係者の方、少し障がい者に興味のある方、とにかくたくさんの方々に見ていただきたい講演です。企画していただきありがとうございます。

知的・発達障害疑似体験 出前講座提供 花笠ほーぷ隊

新成人のご家族の言葉

宮田勝郎さん母

早いもので、今年成人を迎えました。かなり知能の方も遅れがあり、言葉も遅く、身の回りのことができません、心配もしましたが、どうにか人と人との関わりを持ち、物事を覚え、何とかきちんとまではいきませんが、できるようなりました。

「羊会のOneMemory」という所で仕事をしています。できる限りのことをがんばらせていきますので、今後とも息子の成長を見守ってくださることを願っています。

本田渉真さん母

「成人を祝う会に寄せて」

一つの節目として、この度、初めて懇親会に参加させていただきました。成人式に出すのも一苦労でしたので、さぞうなることか！カレンダーに「育成会成人を祝う会」と記入、あなたのことがお祝いしてくれるから、美味しい昼ごはん食べられるから、と吹き込んで笑。

当日、やはりその堅苦しい雰囲気、機嫌は悪くなる一方、お祝いをいただく際も顔を上げることなく壇上を後に。しかし、徐々に会場の雰囲気慣れて、表情が次第に柔らかくなりました。

これからも、少しずつ変化する環境に適應できなくなつては、徐々に慣れていくのを繰り返すことと思いますが、理解ある皆様の暖かい見守りのなか、笑顔で過ごしてほしいと願っております。

釜谷雅司さん

今日はこのような会を開いていただきありがとうございました。楽器の演奏がすばらしかったです。思い出に残る一日でした。

雅司さん母

新成人を祝う会に参加させて頂き、たくさんの皆様に祝っていただいた事、親としても大変うれしく思います。本当にありがとうございました。

令和2年 新年親睦会・成人式

令和になり、初めての新年親睦会と新成人のお祝い会が1月26日（日）秋田市の大町ビルにて開かれました。

参加者は新成人3名を含む約60名、新時代にあふさわしい賑やかで華やかな会となりました。

最初に田中会長より挨拶があり、その中で今年の夏に開かれる東京オリンピック・パラリンピックへの期待に触れて、中でもパラリンピックは50年以上前にはたった9競技だったものが、今年は22競技に増え、参加アスリートも4千人を超えるとのことで、確実に障がい者に対する社会の理解は上がっていると思われる一方で、障がい者福祉への理解はまだまだハードルが高い！とのお話がありました。現実の厳しさを感じます。

また、来賓の高橋精一様と佐藤秀実様からは、3名の新成人への心温まる御祝辞をいただきました。

そして乾杯の発声の後、いよいよ祝宴の始まりです。各テーブルには久しぶりに再会を喜び合う歓談の花がたくさん咲いておりました。

◎来賓の紹介

秋田県手をつなぐ育成会

会長 高橋精一様

秋田県手をつなぐ育成会

事務局長 佐藤秀実様

秋田市手をつなぐ育成会新年親睦会



宮田くん 釜谷くん 本田くん



祝・成人

今年の新成人は4名のうち、3名が出席されました。

釜谷雅司さん（一般就労）

本田渉真さん（在宅）

宮田勝郎さん（羊会・OneMemory）

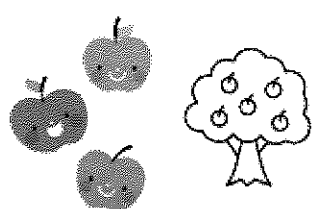
残念ながら出席されなかった1名を含め、新成人の皆様の前途に祝福あれ、ますますのご健康とご活躍を祈念いたします。

～おめでと～ございます～

りんご狩り



今年のりんごは うまいかな～？



11月3日（日）今年も恒例の秋の行事、りんご狩りが63名の参加者とともに行われました。広大な園内はほとんどの木の収穫が終わっている中、たわわに赤い実をつけた一角で「どの木のりんごを採ってもいいですよ…」の嬉しいお言葉に各々赤いりんごを探して木を取り囲み袋満杯になるまで詰め込んでおりました～

スーパーなどでは袋に入って売られている見慣れたりんごも、木から直接自分でもぎ取る体験はそうそう味わえるものでもなく、大人でも興奮してしまいます。毎年すごく貴重な楽しみの一つです。

徐々に、本人のみ参加という方も増えてきてちょっとした遠足気分が良い機会だなあと感じました。学校を卒業してしまえば、このような体験の機会も減ってしまうのを実感していたので、これから先も本人の参加者が増えていけばいいなあと切に思っておりました。皆さん～来年はりんご狩り参加しませんか～

今年のりんご「ふじ」はパリパリして甘くて、特別おいしく感じました。

また、帰路途中には、中央シルバーエリアで行われていた「感謝祭」にも寄ることができ、しばしの間バザーや出店、ホールでのマジックショーなども楽しむことができました。盛りだくさんの一日でした。



おいしそうなの どれだろう～？



へそ公園にて… 晩秋の大自然の中で深呼吸～



公園内を散歩～

そして、祝宴に花を添えてくれたのが、すばらしい音楽鑑賞タイムです。

佐々木悠希くんのピアノ演奏：もはやこのピアノを聴かなければ育成会の1年は始まりません。それくらい定番になっています。

今年もすばらしい演奏を聴かせてくれました。特に「糸」は会場全体の合唱も重なり、素敵な空間に包まれました。

堂々たる演奏～♪



佐々木 悠希くん

さらにはギター演奏も、今年はゲンさんとトシさんのお二方：ソロあり、二重奏ありで全員がギターの音色に酔いしれました。

しっとりとした穏やかであつという間に時間が流れました。素敵な演奏をありがとうございました。

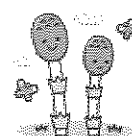


石川 俊弘様 片岡 元様

恒例の福引き大会～！最後の当たりは新成人の釜谷くん、大喜びの笑顔に幸せを分けてもらった気持ちになりました～おめでと～！



お知らせ



秋田市手をつなぐ育成会
総 会
令和2年度 定期総会

2020年 5月31日(日)
秋田県社会福祉会館 3F 会議室AB

第60回
手をつなぐ育成会
東北ブロック大会

9月12日(土)～13日(日)
青森県青森市:青森国際ホテル

第7回
全日本手をつなぐ育成会
全国大会

令和 2年
10月3日(土)～4日(日)
愛媛県松山市:愛媛県県民文化会館

第62回

手をつなぐ育成会

秋田県大会

(南秋・潟上・男鹿大会)

8月30日(日)・サンルーラル大潟

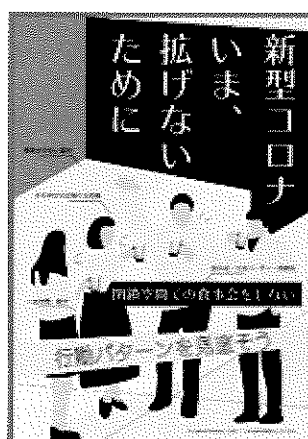
秋田県手をつなぐ育成会会長表彰を
受賞いたしました

当会役員 高橋 洋子 様

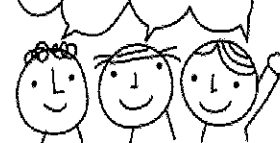
小林 顕 様

永年にわたり障がい者のための活動
に尽力されました

おめでとうございます



みんなで
気を付けよう



お 悔 や み

森 綾子さん(可奈子さん保護者)

ウェルビューいずみ

柿崎 悦子さん(ご本人) 柳田新生寮

令和元年度にお亡くなりになられた会員の方々です
謹んでご冥福をお祈りいたします



令和最初の冬もまた、全国的な暖冬で少雪に助けられました。雪かきもなく生活はとても楽だったのですが、2月に入り、いきなり降って湧いた新型コロナウイルスの蔓延…突然の学校関係の休校発表により、世の中の大混乱を目の当たりにしました。

特別支援学校も休校になったことで、秋田市では障がい児を預かるディサービス枠が不足しているとのこと…ニュースになっておりました。

各福祉施設でも、毎朝の体温測定の励行や通所事業所やショートステイの休止…入所施設では、家族すらも面会禁止の対策をとっている所もあるようです。

この非日常を体験するとなおさら日常のありがたさ、幸せを思い知ります。一日も早い終息を願うのみです。

(広報部)

印刷/社会福祉法人 緑光福祉会

就労継続支援B型 緑光苑



名刺・伝票・封筒・チラシ・ポスター・冊子…
その他、印刷全般承ります
～年賀状の印刷もやっています～